

令和7年2月定例教育委員会会議録

令和7年塩尻市教育委員会2月定例教育委員会が、令和7年2月20日、午後1時30分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 3月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 その他

- その他第1号 令和6年度教育委員会関係補正予算（案）について<期間限定非公開>
その他第2号 令和7年度教育委員会関係予算（案）概要<期間限定非公開>

5 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	徳 武 あ ゆ 子	委員	甕
委員	八 島 思 保		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	百 瀬 一 典	交流文化部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹 中 康 成	交流文化部次長 (社会教育スポーツ課長)	上 條 史 生
学校教育課長	上 條 崇	文化財課長	古 畑 比 出 夫
教育施設課長	五 味 克 敏	平出博物館長	小 松 学
保育課長	塩 原 清 彦	市民交流センター 長(図書館長)	矢 澤 昭 義
主任学校教育指導 員	村 上 啓		

○ 事務局出席者

教育企画係長	佐 藤 智 樹
--------	---------

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。まだまだ震え上がるような寒さではありますが、真っ青な空や日差しの暖かさを感じる季節になってまいりました。本日、両部長は、別の会議と重なってしまっていて、終了しましたら定例教育委員会に参加することとなっておりますので御承知おきください。

それでは、ただいまから2月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 次第に従いまして2番、前回の会議録の承認について事務局からお願いします。

佐藤教育企画係長 前回、1月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名いただきますのでよろしくお願いいたします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 3番、教育長報告に入ります。私からは3点報告させていただきます。

1点目は、年明けの1月29日、昨年の全国高校駅伝競走大会で優勝した長野東高校駅伝チームで主将、窪田舞さん、ライバルが競い合う3区を走り切った窪田選手が母校塩尻東小学校に招かれました。塩尻東公民館では大会当日パブリックビューイングが行われ、テレビ画面を通して地元の皆さんが集まって応援していました。平林塩尻東公民館長、名取塩尻東小学校長も一緒に応援してきて、ぜひ母校の子どもたちにお話ししてほしいという願いで、今回実現するに至ったと伺っております。陸上をやるきっかけ、日頃努力していること、また将来の夢を語ってくれました。身近で活躍している先輩の話を聞いて、自分も全国や世界で活躍できる選手になりたいという子どもたちがたくさんいたと校長から聞きました。

この2月10日ですが、市長表敬訪問もありまして、私と、それから窪田舞さんが通った塩尻中学校で3年間一緒だった元塩尻中学校長の小林順一先生も同席させていただきました。塩中時代から走ることが大好きで、陸上部の練習や自宅の周りを走っていたそうです。百瀬市長が登下校も走っていましたかと質問したときですが、柿沢なのでスクールバスでしたと笑いを誘う場面もありましたが、実は雨の日も雪の日も問わずトレーニングを続け、長野東高校の陸上メンバーの誰よりも走り続けたことを話してくれました。この後、進学するというので、その大学は駅伝の伝統校ということで、またテレビの画面で応援することができるかもしれません。

2点目です。今年度最終となる第8回の塩尻市教育支援委員会が2月13日に開催されました。今年度の審議・判断を行った件数が183件となりました。昨年度までは160件程度で推移してきたのですが、今までになく多くのお子さんが審議・判断を行ったことになりました。

教育支援委員会では、審議に係る子の学校・園・家庭での様子や発達検査等の結果なども、

客観的な姿から一人一人の教育的ニーズを捉え、将来を見据えた幅広い視点で適切な学びの場を判断いただいております。審議した中身については、令和7年度就学園児の審査数と小学校でのLD等通級指導教室の審議が増加したと聞いています。塩尻市で行っている元気っ子応援事業では、年中児で相談を始め、年長においては、就学に向けて丁寧に子どもや保護者と向き合って相談を重ねていくことを大切にしています。我が子の発達に戸惑いを感じている保護者は、就学先の決定に対しても不安を抱いております。その気持ちを十分に酌み取って、安心して相談が受けられるような仕組みを構築してきた成果とも考えられます。

また、LD等通級教室への判断が増加していることは、これまでのLD等通級教室やサテライト教室設置校における指導の成果を踏まえ、子どもたちの教育的ニーズに応じることを単に担任任せにせず、より丁寧に対応する中で学校全体の対応力の向上につなげていこうとする姿勢の表れとして喜ばしく思います。そして来年度、吉田小学校に新たにLD等通級指導教室が新設の運びとなりまして、現在、教室開設に向けた準備が行われております。

3点目です。2月15日土曜日ですが、塩尻市コミュニティ・スクール&公民館フェスタが開催されました。今回公民館との協働や児童生徒の代表発表があったことで、兄弟姉妹、保護者や祖父母、そして親戚の方々など、多くの方に御来場をいただくことができました。市民、保護者に向け、今年度は塩尻市から案内イベントの情報を積極的に配信もしました。第4部の車座での情報交換では、不覚にも児童発表で涙してしまいました、本気の子どもたちの姿に感動しました、中学生が地域愛を持って活動している姿は立派でしたとの感想が次々に出されました。コミュニティ・スクールが誕生して9年目を迎えました。そしてこれから10年目に向かい、このコミュニティ・スクールの次なる方向を決め出していく折り返し地点になるなということを感じました。

私からの報告は以上です。それでは各委員さん、参加されました行事や事業について、お気づきの点などありましたら御発言をお願いいたします。

碓井教育長職務代理者 私からは、2月13日に市町村教委連絡協議会の代議員会が長野市でありましたので、その報告をさせていただきます。

会議ではまず、県教委から連絡が3点ありました。1点目は、特別支援教育課から特別支援学校の名称を養護学校から支援学校に改めるということについてでありました。この近辺でいうと、現在の松本養護学校が松本支援学校という名称になるということでありました。ただし、盲学校やろう学校については変更せず、従来どおりだということでありました。

2点目は、2028年に長野県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会についてでした。塩尻市でもバドミントン等が予定されているということを知っているわけですが、開催に当たって、小中学校へ花いっぱい運動や学校観戦等の協力依頼をしたいとのことでした。

3点目は、県立高校の再編に関する基準等に関するもので、主として中山間地の学校について、特に県境に近い地域の学校は存続する道を残していきたいというような内容でありました。

続いて行った協議会では、次年度の計画等が審議されましたが、教育委員の関係では、5月30日金曜日ですけれども、長野市で関東甲信越静の総会及び研修会が行われるので参加をというお話がありました。詳しくは事務局に資料をお渡ししてありますので、お願いしたいと思います。

続けて、2点お願いしたいと思います。1つ目は、1月31日に行われた宗賀小学校でのこんにちは教育委員会に関連してであります。私は、昨年、宗賀児童館が宗賀小の校舎内に移転しましたので、そういう点と、今年度から宗賀小にスペシャルサポートルームが設置されていますので、その状況を主として知りたいなと思って、このこんにちは教育委員会に臨みました。

児童館の移転については、慣れると特に違和感はないという声を複数頂きました。また、お一人の先生からは、前に勤務していた小学校は児童館が校内にあって、放課後の関わりも若干あったので、少し寂しい気もすると、そんなお話もありました。

スペシャルサポートルーム、宗賀小では中間教室と呼んでいるのでしょうか、それについては、私は直接参観させていただきました。6人のお子さんが利用しているということでしたけれども、ちょうど5時間目が始まる前でしたので、スペシャルサポートルームからクラスの授業へ行く児童の姿を何人か見ることができました。このスペシャルサポートルームをベースキャンプのように使っているのかなと、そんなふうにも思いましたが、グループ討議の場でも、スペシャルサポートルームはありがたい。今まで学校に来られなかった子が登校できるようになった。金管バンドにもにこにこして参加しているというようなお話がありました。スペシャルサポートルームについては、昨年参観させていただいた吉田小でも効果があるということでしたので、必要な学校への設置についてはしっかり進めていく必要があるのではないかと思います。

また、グループ討議の場では、施設設備などをはじめ、どんぐりプロジェクトとか、小学校における部活的な活動の在り方などが出されました。プールについても出されて、老朽化しているので水泳はスイミングスクール利用に移行するのかなというような質問もありました。

甕委員から情報を頂いて、先日の市長の来年度予算の記者会見をYouTubeで見ましたけれども、そこで、来年度は洗馬小がスイミングスクールでの授業を試行する等のお話がありました。今申し上げたように、宗賀小もそうでしたけれども、ほかの学校でもそういう点に関心を持っているのではないかと思います。洗馬小のスイミングスクールでの取組に関しては、狙いや内容を含めて少し教えていただければと思います。

2つ目は、その市長の記者会見の中で、教員の働き方改革という観点で、テストを市内で統一して作成し、採点はAIを使って行うという実証研究をしていくというような発表があったかと思います。このことに関して、これはどのような効果を期待してそんな方向が出てきたのか、これは現場の先生方から要望があってそういう予算をつけているのか、子どもや先生方、保護者の皆さんはこのことについてどう考えているのか等について教えていただければと思います。

前回の定例教育委員会で新聞の投書欄に関連して私から発言させていただきましたけれども、AIについては、子どもたちも様々な意見を持っているというふうに思いますし、現在中学校に在籍しているお子さんをお持ちの徳武委員もおいでになりますので、お考え等もしありましたら、併せてお聞きできればと思います。

上條学校教育課長 今、碓井職務代理者からお話がありました市長会見であった働き方の関係になりますが、新年度予算を要望しました内容につきましては、学校発の働き方改革実証交付金を創設する予定としております。学校発になりますので、基本的には学校の先生たちか

らの発案に基づいて、今回幾つかの働き方、例えば先生たちの負担軽減であったり、ある程度時間を生み出して先生たちが子どもたちと向き合う時間、学習準備等を行う時間を確保するというを目的に交付金を設けていきたいと考えております。

令和7年度は、実証という形で、プール授業の外部委託につきまして洗馬小で行っていく。対象は1年生から6年生まで。これにつきましては、洗馬小の先生たちからの発案をいただきました。やはりプール授業の場合、夏休みも含めて先生たちのプールに対する維持管理、温度管理であったり薬剤管理、水を入れたり止めるも含めて、結構負担になっているとのこと、また、先生の中には、水泳自体、得意な先生が正直なかなかいないといいますが、得意不得意がありますので、そういった中でも、専門的なコーチから教わったほうがいいのではないかと。

あと、プール自体は今屋外でありますので、夏の限られた時期しかできませんが、屋内プールであれば、四季を問わずプール授業ができるということです。天候も気にせず暑さも気にせずという形の中で、例えば春から冬にかけて年間通してプール授業を考えることができるのではないかとということもあります。

また、民間の事業者側からもそういった形で、例えばヘルスパであったり、サムなどありますけれども、結構休日や夜とかは利用者がいるのですが、平日昼間になると少なくなるようなところがありますので、そういったところも、できれば子どもたちに使ってもらえればというような話がありましたので、今回、民間に委託するという事業を試験的にやることとしております。

テストの関係ですが、今現在3学期に入りまして、中学校の市内4校で百問繚乱というAIソフトを使って試験的に数学で使いました。このAIソフト自体は、テストをPDFに読み込んで一括採点ができるというソフトでして、主に数字・記号、そういったものについては瞬時に採点ができる。間違っ採点する率が0.0数%ぐらい。ほぼ100%に近い形で間違いはない採点ができるということが実証されております。今現在、ソフトメーカーから3学期中は無料でお借りできているところで、ほかの教科に対しても実施し、先生たちの評判はすこぶるいいという状況になっております。

これについては、新年度、本格的に市内の主に中学校。小学校はテスト自体も購入して使っているようなところがありますし、量的にもそれほど問題ないものですから、担任で賄えるという中で、今のところは中学校を中心に、このソフトを入れて採点を進めていきたいと考えております。

今現在、数学の教科担任がテストをやると、四、五クラスぐらいを持っていますが、採点に大体1クラス1時間ぐらいかかっている状況であります。ただ、それをこのAIソフトで採点すると、半分以下の時間で採点できたという成果も上がっています。ただ、文章問題などは、そこまで判断が難しいため、先生が独自で採点を行いますが、ほぼ半分ぐらい以上はAIソフトで採点ができるという形であります。

ただ、子どもたちの反応については、正直、今まで三角点があったのですが、それがなくなり、少し寂しいという声も聞かれているということでもあります。オプションなどで、三角点ができるような仕組みもあるかと思っておりますので、今後、研究していきたいと思っております。

テストにおいては、先生たちの効率的なものは図られているというお話は伺っておりますし、科目についてもおおむね全教科対応できそうだということで、中学校を中心に新年度は

導入していきたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。プールについてなのですけれども、私は、できれば先生たちに指導してもらいたいなと思います。ふだん見ている、ふだん一緒に生活している子どもたちをプールでも見てもらいたいなというふうに思うのですけれども、確かにプールの老朽化も進んできている状況もあって、管理上の負担軽減とか、それから課長がおっしゃったように、教師もいろいろな状況、すべてにおいて万能ではないものですから、よりよい水泳の技術習得も期待できるということもありますので、これはそのような方向を実証していただくのもいいのかなということは感じます。これについて、実証して効果があるというようなことが分かったら、市内全校に広げていくというようなことも可能になるのかどうか、その辺、また教えていただければと思います。

赤羽教育長 では、今の点に関しましては。

上條学校教育課長 今回行う実証事業につきましては、効果が見込まれば、やはり横展開というような形は取っていきたいと思っています。ただ、プール事業については、中学校は専門の体育の先生等がいますので、今のところは小学校を中心に民間委託を考えております。

碓井教育長職務代理者 テストの採点をA Iにするということについて、私もまだ頭の中がもやもやしていて何とも言えない部分があるのですけれども、一人一人を大事にしていく、一人一人の育ちに丁寧に向き合う教育という方向と、この市内統一テスト、A Iで採点という取組とは、私自身はどうしてもじっくり結びついてこないのです。

このことが効率的、合理的な学習指導に結びついて、子ども一人一人を大事にしていくことにつながるのかというふうに考えたときに、いやいや先生方の採点の能率がよくなるだけではないかなと、そんなことも浮かんでいろいろ迷ってしまう部分が多いのが今の私の現状です。

はっきりと言えない部分も多いのですけれども、先ほども課長が言われましたが、先生が採点していれば、その子の考え方がペーパーに出てくるので分かります。また、例えば記号で答えろといったところをそこに書いてある文字で答えたとき、中身は合っていたから、では三角で半分点をやるかと。そういうところも一人一人の中身を教師がしっかり見られたのです。今おっしゃるように、A Iにすると丸とバツしかなくなり、今お話したそんなのはみんな駄目ですよ。だから、解答の過程等をやはり大事にしていきたいですが。私が今言ったのは本当に単純な中身なのですけれども、本当にそれでいいのかなという非常にもやもやしたものが残るという、現在は気持ちですね。

実証していただいて、しっかり検討していただいて、本当に教育に効果があるのかどうか、その辺のところを考えていただくということだと思うのですけれども、ぜひほかの方の御意見も。

赤羽教育長 関連して教育委員からお願いします。

徳武委員 今、碓井職務代理者からお話がありましたけれども、ちょうど息子のテストがありまして、甕委員に話を聞く前に、家でA Iの採点の話になったのです。すごく私はびっくりして、そんなことやっているのと言ったら、ちょうど今回から始まったみたいでということ息子から聞きましたけれども、多分聞いていない保護者の方もいると思うのです。ひょっとしたらとは思いますが、今回からこういう方法でも採点が始まりましたというのは、保護者向けに案内を出してもいいのかなということは思ったところです。全く知らないでい

るよりは、家の人も知っていたほうがいいのではないかなというのが私の感想で、やる事に関しては、先生の負担軽減ももちろんありますし、時と場合によってみたいなどころがあるとは思いますが、そういうのも時代の流れとしてありなのかなということは思いました。

共通テストというのが全然分からなかったですけど、市内でみんな統一して同じ問題ということですね。学校によって進み具合も違うでしょうし、先生の御都合もあって、なかなか共通というのは難しいかなとは思いますが、やり方としては、例えば中学3年生になったら、何回かは共通でやってみるとか、そういった方法もあるかなとは思いますが。そういったときに、A Iの採点を採用するとか、そういう方法もあるかなと考えたところです。以上です。

上條学校教育課長 今、徳武委員がおっしゃったように、共通テストにつきましては、例えば中学校1、2年生は進み具合が全然違いますし、各クラスによっても違いますので、今のところは考えていない状況です。3年になって、例えば総合テスト、試験前のテストであったり、そういったところから、まず市内の数学の先生たちが集まって問題を作成したり、そういった形を試行的に考えております。既に今年、この3学期の数学の総合テストを1回やりまして、非常に先生たちからも負担軽減に効果があると伺っております。

徳武委員 ありがとうございます。共通テストをやるというのは、私は個人的には小学6年生や中学3年生ではすごくいいと思うので、何らかの、特に数学とかほかの科目もできればいいなと思ったりします。

赤羽教育長 生徒の反応はどうでしたか。

徳武委員 大変驚いていました。息子が言うには、答案用紙をスキャナーか何かで1回読み込んでそこでばっと採点をして、丸とかつけて、そのスキャナーされたものの印刷が自分に返ってくると。私はまだ現物を見ていないから分からないですけど、自分が実際に書いた答案用紙はそのまま戻って来るということです。聞きま本人は、消したらもう1回復習できるねなんていうふうには言っていましたけれど、すごいなと思って、ただただびっくりでした。

赤羽教育長 続けて。

壺委員 共通テストに関して、問題を作るということに対しては、先生たちの働き方改革でものすごく合理的だなと思うのです。ただ、採点に関しては、やはり丁寧に採点してあげなければいけないと思うので、3年生の3学期だけならいいのかもしれないですけど、1年生とか2年生に使うとなると少し乱暴すぎると思いますし、3年生の総合になったとしたら、余計A Iではなくて先生たちが丁寧に採点する必要があると思うのです。

だから、これは本当に先生たちが発信したのかどうかというのが分からないんですけど。そもそもその創設について私が一番気になったのは、私たちも結局、市長の記者会見を見て知ったわけで、結構大事なことだと思うのに、私たち委員が知らないというのはどうかなと思うのです。こんにちは教育委員に行ったときに、先生たちの要望とかに対してすぐ予算つけられないではないですか。やっていることは同じことですよ。だから何か都合のいい感じに見えてしまう部分があるところもあります。

全て否定しているわけではなくて、たとえば水泳授業の民間委託というのは、私はありかなと思っています。スケート教室にしてもスキー教室にしても、しっかりとした基本を教えてもらうという意味ではすごくいいことだなと思っています。

それから3つ目に、清掃方法の見直しとかありますが、清掃方法の見直しというのは、具体的にどんなことをやる予定でいますか。

上條学校教育課長 例えば清掃の場合、清掃道具、今ほうきとちり取り等でやっているものを、既に行っている学校もありますが、モップに変えて、1人の作業時間を少なくする。あと、各学校においては、毎日清掃を行っておりますが、それを1回、2回ぐらい減らしてでもきれいさを維持できるような形を取っていききたいと。例えば清掃道具を変えることによって、今大体1日15分ぐらい清掃時間を設けていますが、大体それを10分ぐらいにしたいというのが希望になります。回数も、週4回ぐらいにしていきたいという形で、今各学校が調整しているという状況になります。

審委員 回数を減らすということは本当に重要ですか？毎日10分だったら10分やればいいのかというふうには自分は思いますし、それが何の先生たちの働き方改革になっているのかよく分からない部分もあって、まずこれを出す前に、もう少し慎重な審議が必要ではないかなと思うのです。先ほどの共通テストの話ではないですけど、これからは全部共通テストみたいに作ってやるのかと、多分保護者の皆さんも分からないですよ。だから、説明不足のところもありますし、また、これを創設するというのは、もう教育委員会の皆さんは知っていたわけですよ。

上條学校教育課長 はい。

審委員 だから、自分たち教育委員が知らないのは、やはりどうかと思うのですよね。

碓井職務代理者のほうから宗賀小学校の件が出たので付け加えて言いますと、中間教室の先生と話ができただけですけど、中間教室の先生は若い先生で、学年の違う6人の生徒を見ていると。そのときに、どうやって指導していいかが分からないから、私に研修をさせてほしいと。すごく前向きな意見だったのですよね。副教材なども少し足りない部分もあったりとかして、そういった部分で予算をつけてほしいと、そういう積極的な声があるわけですよ。そういうところを後回しにしてしまっている感じも、どうしてもしてしまうのです。

それと設備で、見られたと思いますけれど、体育館のカーテンがぼろぼろだったではないですか。体育館は暗いところに電気をつけて体育をやっているわけですよ。何でと聞くと、ぼろぼろで開閉ができない。そういうところに予算をつけてあげなければいけないのではないかなと思います。

挙句の果てに、下駄箱が普通に1足入らないわけです。だから、片方が少し斜めになって入っている。小さいということですよ。そういうところにすぐ予算をつけられないというのが、自分的にはおかしいのではないかなと思うのですよ。そういった大切な所に予算を充てず、今回みたいなものを創設するというのが、何か納得いかないというか、私の意見についてどう思うのか、お願いします。

上條学校教育課長 今回の働き方については、もうここ数年来、先生たちの残業時間が非常に多い。過労しているというところは全国的にも見受けられるという中からスタートしたものと認識しております。働き方と先生たちの待遇も含めてになりますが、給与面であったり、そういったところは国の対応と考えますが、地方の一自治体では、働き方改革でしか対応ができないところがありますので、そういったところで課題を見つけて、改善していこうと思います。

本年度、予算のときに話をしたかと思いますが、県の魅力アップUP校支援事業という長

野県の事業の委託を受けておまして、それを今、塩尻西小学校と広陵中学校で実証しております。県からもアドバイスをもらいながら、あと信大の先生からも全国的な例で、いろいろ全国ではこういった取組で授業時間を確保していますとか、そういった話を伺う中で、何回かワークショップを開き、先生たちからこのような取り組みができないかと発案をいただきました。そういった中で実証の提案をもらい予算づけをさせていただいております。

先ほどの例えば宗賀小学校のハード面ですが、ハード面はハード面でしっかり実施計画等に基づいて、今年度も特別教室へのエアコン等も整備してまいりますし、老朽化しているところについては随時、工事をやっております。どうしてもソフト面とのバランスが全て同時というわけにはいかないですが、予算をつけられるところにはつけていき、両方を整備していきたいと考えております。

審委員 さっきの中間教室の先生に対しての研修などは、本人も相当悩んでいましたし、これは早急に対応してあげたほうがいいなと思っています。

それから、重要事項の意思決定を行うという私たちの役目の中でという部分についてはどう思いますか。それは、これからも行政で、もうこれをやると言ったら私たちの意見等は関係なくやってしまうという感じですか。

上條学校教育課長 教育委員会の予算の組立て方法については不慣れなところはあります。行政でいくと、去年の時点で、新年度に行うものについて予算要望や行政評価を受ける形で、市長部局で全て審議してきているという状況であります。教育委員会への報告であったり周知の時期についてが、また確認はしますが、どのようなタイミングで行っていくのがベストかというのは、研究が必要かと思っています。

審委員 決定して出す前に、少しでも相談といいますか、今みたいに後からいろいろ聞きたいことが出てくるのではないですか。こういう施策をするときに、すごく重要な立場にいると思って自分たちも務めています。だから私たち抜きで決めるのはおかしいのではないかと思いますよ。なので、その辺また考えていってもらいたいなと思います。ここでいけないと怒ったりしているわけではなくて、そういうふうにしていただけるとありがたいなと思います。

碓井教育長職務代理者 関連して、先生方の働き方改革という中では、負担軽減とか子どもと向き合う時間の確保とか、そういう言葉が出てくるのですけれども、特に子どもと向き合う時間の確保という部分については何をイメージしているのか、その辺のところはどうお考えですか。

上條学校教育課長 子どもと向き合う時間につきましては、授業の内容にもよると思います。例えば授業準備等が、なかなか時間がなくて立てられないような状況であると、教えるのみの一方的な形になってしまう授業になるケースも多いかと思えます。授業の内容次第では、もう少し子どもたちに本当に伝えたいところであったり、分からないところへのフォローであったりというものができるのではないかと考えています。先生たちはどうしても翌日などの授業づくりになかなか時間が割けないというようなお話もありますので、少しでも時間を確保したいという思いから、今回実証をさせていただくという認識でおります。

赤羽教育長 もっと授業準備というところにあったのですが。

碓井教育長職務代理者 私も今課長がおっしゃられたことについて同感で、教師の仕事の中で一番大事なのは、私は学習指導だと思っています。学習指導の中で子どもときちんと向き合

っていけるように、子どもから見ると分かる楽しい授業につながるように、教材研究をしっ
かりしていくことが教師としての第一義だというふうに考えています。

それで、テストもその一環に当たると考えます。指導したら評価する。指導と評価は一体
ですから、その一環に当たると思っていますので、子どもと向き合う時間の確保とか、負担
の軽減の中身をまたぜひ吟味していただいて、子どもにとっていい働き方改革になるように
進めていただければと願っております。

八島委員 確井職務代理者は教師の模範であるなど感服いたしました。私はAIによる採点に
ついては抵抗ありません。高校の模試であったり、英検の一部はマークシートであったり、
大学や国家試験でもマークシートがありますので。しかし、幼少教育に関しましては、やは
り人柄を感じさせる丁寧な対応も、人間形成の育成には必要であるかと思えます。AIを線
引きするわけではありませんが、学年が上がるにつれて、社会の流れに順応していく力もま
た大切であると思いました。

しかしながら、教職員の働き方改革で削減していく内容が多数になることで、効率的配慮
も進みますが、視点や視野が狭くなっていく危険性もあるのではないかと、懸念もあります。
清掃方法の見直しですが、家事ならば毎日掃除をしますよね。徳武委員。

徳武委員 はい。

八島委員 日常の生活の中で堪えず行っていく生活の基礎能力に関わることの削減には慎重
にあるべきだと感じます。特に掃除の時間の短縮については、医療者目線としても疑問に感
じます。コロナ禍で感染対策につき学び、必要以上に雑菌にこだわり続けた学校が、いきな
り手のひらをひっくり返し、掃除を削減する。しかも授業準備のために。掃除の意味とはな
にか。何をもって取組をしているのか。大切なことを見失わないように願います。

以前インシュタインの言葉に、学校で教わったことを全て忘れても、なお覚えているも
のを真の教育と言うとあります。日々の生活の中での知恵や工夫、気づきや感情、教科書以
外に生活の中で大事にしていかななくてはならない能力や資質の育成を、教職員は担うことも
大切な教養であると思えます。水の温度、消毒の管理、面倒事を拾い続けるからこそ、先生
は子供たちの命を救えてることに結び付くのではないですか。生活面の合理化をしていく
ことに基本的には賛成ですが、物事の成り立ちや理由を考えながら、選別してほしいと願
います。

赤羽教育長 ありがとうございます。これに関連してほかにございますか。

徳武委員 さっき話が出ました宗賀小学校のこんにちは教育委員会の件で、私もお願いしたい
と思います。先生方と話をして、先ほど皆さんおっしゃっていたとおり、設備面ですとか、
いろいろ変えてほしいところがあるということなのですが、私の班で1点気になったことが
あります。

宗賀小学校はバス通学が非常に多いということで、通っている児童の半分以上がバス通に
なっているという話がありました。私も地域の方から聞いてはいるのですが、バスの乗り方
のマナーですとか、子どもが車内で立ったり座ったり、上がってしまったりと聞いているも
のですから、そういったことについて、先生のお話を伺ったのですけれども、年度当初は、
先生方が付き添って乗って、見てくださることもあると思うのですけれども、どうしても先

生たちもお忙しいということで、ずっとはもちろん乗ってはいられない、子どもに任せてということなのです。そういった中で、学校のほうにも苦情が来ているということを知っています。

ほかの学校もバス通はあるかとは思いますが、そういったバスの車内での過ごし方もしくはマナー、あと、先生たちが一番おっしゃっていたのは、できれば誰か付き添いで乗ってもらいたい、地域の方とかボランティアの方とか、そういった方に乗っていただけないのかとおっしゃっていたのは、すごく頭に残っています。

やはり乗り物に乗るので危険もあるということで、車内のマナーはすごく大事だと思うのですが、もしほかの学校で何かそういった取組をされているのですとか、ほかの学校のバス通の件とか、分かれば教えていただきたいと思います。

上條学校教育課長 現在バス通をしているのは、宗賀洗馬と塩尻東地区になります。あと、片丘もすてっぷくんを使っていますが、人数が少ないので、あまり立ったりはないかと。塩尻東地区もマイクロバスを使っていますが、やはりどうしても同じような状況は起こっているという話は聞いています。なかなかバスの運転手も強いことを言えないところもあるものですから、その点については、学校と、どのような対策が一番いいのかという研究をしていきたいと考えています。

徳武委員 ぜひお願いしたいと思います。大人が乗っていないから、子どもだけだとどうしても、子ども同士で何が合ったかというのは、結局子どもから報告が来ないと、保護者も先生たちも何にも分からないところがあって、聞いた話ですと、座席を蹴ったりとか、そんなことまであるということを知っているのです、もう一度バスに関して、使っている学校では、そういったことの指導をもう一段深めてお願いしたいと思いました。以上です。

赤羽教育長 大事なところをありがとうございました。では、ほかのことでありましたらお願いします。

八島委員 先ほど教育長からも報告がありましたが、先日のコミュニティ・スクール&公民館フェスタは、創意工夫があり来館者も多く大盛況であったと思っています。

次年度へ期待を込めて、1点だけ感想を述べさせていただきます。昨年も中学生を交えたディスカッションが開かれました。その際も後日参観された数名の方より、ファシリテーターの話が長過ぎる、パネラーの話をもっと聴きたかったとご意見をいただきました。確か昨年の定例会でもご報告させていたと記憶しております。今年は、パネラーの時間は十分に感じたと感じました。テーマが子どもを真ん中と明記されていたので、もう少し生徒たちが自由な発言ができる環境の配慮や、雰囲気作りをすることが、これからの大人の役割ではないかと、感じました。

シナリオを用意しておくのではなく、大人が意見や思いを多く伝える場でもなく、子供たちが思い切って発言をし、大人がフォローをいれていく進めの方がテーマに寄り添った企画となれたと感じています。基本的に大人の発言は最小限にすることが、世代間ディスカッションの成功のカギであると思います。聴くスキル、共感するスキルを、もう少し社会教育現場は勉強なされるとよいですね。以上です。

赤羽教育長 関連して伺います。

壺委員 私も今回のフェスタに関しては、すごく広報を頑張ってもらったなと思っていて、コ

コミュニティ・スクールの活動をやっていると思うのは、公民館の活動とどうしても切れないとか、関わり合うことが多かったので、公民館関係者の方々が結構多く来てくれたという部分がすごくよかったなと思います。

また、塩尻東小学校4年生のお芝居もすごくよくて、たくさんの保護者の方々が来てくれて、各学校でこういう活動をやっていることを少しでも分かっただけでも、大分よかったのではないかと思います。

これは事前に課長のほうにお願いとか、聞いておいてとお願いしたことなのですが、吉田地区の回覧のことを言わせてもらいます。コミュニティ・スクールの学校応援メンバー大募集という回覧が出たのですが、その回覧を、皆さん見たことありますか。ないですよ。募集の仕方の文言といますか、文章がとても気になるのです。

1文だけ読むと、「メディアでも大きく扱われていますが、現在、学校教育に関わる人間が不足しています。それにより関係者の負担が増加し、当然なことながら、質も低下してきています」という文章なのです。要は、「現在、学校教育に関わる人間が不足しています。それにより関係者の負担が増加し、当然のことながら質も低下してきています。関係者の熱意や努力だけではどうにもならない事態が生じているのが現状です」という始まり方なのです。その文章の上には、「今度は吉田地区の大人の出番です」と書いてあるわけです。

何度読み返しても文面から学校教育に関わる人間というのは、教師しかいないのです。この教師に対して、「当然なことながら、質も低下してきています」なんていう文章を平気で出しているのが、どうしても気になるのです。

なおかつ、吉田小学校コミュニティ・スクールの設置者は塩尻市教育委員会と載せているわけです。これをきちんとチェックして出しているのかということ、昨日電話させていただいて、確認しておいてくれと。こんな乱暴な言葉で教育委員会の名前を使われたら、とてもではないですが、自分たちは納得できない。募集することは大事です。だけど、「質も低下してきています」なんてふうには全然思っていないので、これは確認して出してもらったかどうかということをお教えください。

上條学校教育課長 委員おっしゃるとおり、内容については、私も昨日、確認をさせていただきました。それまでは確認できておりませんでした。実際に作成者に真意を確認しましたが、基本的にこの関係者とは、ボランティアや先生という話であったと感じました。ただ、一方的に全部が先生を示しているという形ではなくて、基本的にはボランティアの方々の負担が増えているので、学校に対してできることが限られているというような回答をいただいております。

内容につきましては、吉田小学校の校長・教頭にも確認はいただいているという話は伺っております。

委委員 では、学校関係者のほうでは何とも思っていないということですか。

上條学校教育課長 吉田小学校では、これで問題ないという認識で許可を出していると考えております。

委委員 なるほど。私は、これを読んだとき、完全に教員を指していると感じました。ボランティアと思うのだったら、ボランティアと書けばいいだけの話ではないですか。それも含めて書いているということ自体がどうなのかなと思います。もともと地域連携コーディネーターだった人ですよ。そんなポジションにいた人が書く言葉ではないと思うのです。知らな

い人が書けば分かりますけれど、今も学校支援コーディネーターをやっているわけですよね。それをこんな書き方するのはよくないのではないかと思います。

今後、こういう回覧を作るときに、地域連携コーディネーターが一回チェックを入れるようなシステムにしておいたほうがいいのではないかと思います。あまりこれを見ている人はいないかもしれないですけど、私は今までコミュニティ・スクールをやってきている一人として、すごく失礼で気分が悪くなったので言わせていただきました。

赤羽教育長 ほかの委員はどうでしょうか。

八島委員 吉田地区のことですので、甕委員から御指摘をいただいた内容につきましては、私も回覧前に拝見させていただいておりました。私も同様箇所に違和感を感じました。区民の立場としても、チラシの内容にあった、質が低下しているといった表現には、違和感を覚えました。表現の仕方ではございますが、上から物事を言い見下すような表現の仕方は賛同しかねると思います。また、赤を強調した文章は攻撃的で高圧感を感じました。もう少し見る側への配慮は必要ですね。好意的にボランティアに参画したいと感じられるチラシ作りを期待します。

引き続き、1点質問を願います。タブレットが導入された際、各学校にタブレットの保管庫のような白いラックが設置されました。現在、生徒たちはタブレットを自宅に持ち帰り充電される方が圧倒的に多いと聞いています。ラックは活用されていない状況が予想されますが、今後はどのように活用されますか。

上條学校教育課長 基本的には、今多くの学校で自宅に持ち帰る等していますが、充電機能が当然ついているものですから、学校に持って来たときの保管場所等で使われている状況です。

八島委員 丘中に関しては、倉庫に片付けられていました。完全に使用しておりません。引き取りは可能ですか。

上條学校教育課長 また、後でお話ししますが、令和7年度に市内のタブレットの更新を一斉に行う予定でいます。そのときに、機種の大きさが同じなら利用できるかと思いますが、何かしらのタイミングで、また必要かどうかも含めて検証をさせていただければと思います。

八島委員 ありがとうございます。

赤羽委員長 よろしいですか。

碓井教育長職務代理者 別の点で2点、感想中心になってしまいますけれども、お願いいたします。

1点目は、こどもしおじりについてであります。私、2月8日午前中に参観させていただきました。私が行ったときには、ちょうど子ども市長や市議会議員の街頭演説会が行われていた場面でした。会場には、銀行やお店、役所等、様々な場所があって、ハローワークの場では、子どもたちが次々に来て、求人票を見て、次の仕事を見つけて取り組むようなことをしていました。大勢の子どもたちが活発に動いていた姿、それが非常に印象的でありました。税務署もあって、一定の税率で税金を納めているということでしたけれども、集まった税の使い道はどうしているのかということで、その場で少しお聞きしてみましたけれども、よく分からなかったのも、もしお分かりであればお教えていただければと思います。

2点目は、2月14日に行われた西小ライブについてです。ライブは2時間目休みですか、10分程度の時間だったと思いますけれども、3年生数名と、担任の先生ですか、演奏されて

いました。大野校長先生のギターを使いながらのりのりで演奏していて、いいなというふうに思いました。

観客の子どもたちは三々五々集まって来た感じですがけれども、演奏が始まると、タブレットを頭の上に掲げて動画撮影をしているような姿もあって、今どきの光景だという印象を持ちました。この場には私の近所の方、高出の方で、西小には全く関係ないという方もおいでになっていて、終わった後、その方と少し話をしたら、子どもたちの姿を非常に評価されておられました。

学校はどうしても教科指導や学級生活に重みを置いて、そういう時間を送るわけですがけれども、このライブを見させていただいて、わずか 10 分間ではありましたが、子どもも先生も本当に楽しそうで、私は、このような自由度の高い取組は、どの子にも楽しい学校づくりという点において、今後ますます大事になってくるのかなというように思いました。

もう少し言わせていただくと、人は、ありのままの自分で、そういう自分を生かせる場が多いと過ごしやすいと思うわけですがけれども、ありのままの自分だけでは、学校という社会では少し困る、そういう部分も当然あるわけです。そういう部分も少し努力をすれば過ごせる学校であってほしいなど、そういう場であってほしいと私は願っております。そういう雰囲気を感じる西小ライブであったかなと思っております。感想です。ありがとうございました。

矢澤市民交流センター長（図書館長） こどもしおじりへのご質問にお答えいたします。大変多くの子どもたちに参加していただきまして、150 人を超える参加をいただきました。税金についてのご質問ですが、働いたときに、税金を払うという社会の仕組みを子どもたちに知ってもらうことが一番の内容となっています。集まった税金を活用しまして、定額給付金等を行っております。市長が新たに考えた施策によって始まる事業もありまして、そういうところの資金に当てられるのが税金になっております。以上です。

碓井教育長職務代理者 議会もあるので、せっかくだから、集まった税金の使い道をみんなで考えてもいいのかなということも思ったのですがけれども、分かりました。ありがとうございました。

赤羽教育長 ありがとうございました。では、ほかに。お願いします。

徳武委員 私も先ほどの公民館フェスタのことで感想を言いたいと思います。今回資料として配布された、公民館事業実践シートというのを大変興味深く見せていただきました。当日も、各公民館主事の説明がありましたけれども、ここの公民館事業実践シートのところに、公民館主事の通算経験年数というのが書いてあって、人によって経験は様々ですがけれども、主事の発表を聞いていて、感心することがたくさんありました。公民館の行事に対してこれだけ熱意を持ってやってくださっているのだと思って、すばらしいなと感じました。

公民館活動において、主事の役割はすごく大きくて、主事によって年間の行事だとか、そういったものがとても変わってくるのだなというのが、公民館のチラシとか活動を見て常々思うのです。この企画力というか、そういったものは経験年数に関わらず、その人のアイデアもあると思うのですがけれども、主事というのは、何か特別な研修をされているのかというのがとても気になりました。そういうことが分かれば教えていただきたいと思いました。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 今、おっしゃったのは、分館主事ということ

ですか。

徳武委員 そうです。分館です。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 外部研修に特に派遣するというようなことはございません。市内の分館長主事の皆さんが一堂に会しての情報交換会は毎年やっております。その中で、他の分館での事業の企画・実施状況などの情報交換をいたします。あとは、具体的なスキルとしては、チラシのデザインとか、そういったようなことも関係するかと思いますけれども、それぞれの分館の主事の皆さんの自助努力に負っているところが多いと考えております。

徳武委員 ありがとうございます。各公民館は様々な活動をされていまして、この間の展示も全部見せていただきました。例えば、隣の公民館ではこんな面白そうなことをやっているのだなということ、意外と近いところも知らないことが多いという話を、そこで主事と話になりまして、例えば同じ中学校区で、公民館だよりだとかチラシを配ってもいいのかなという話もしました。

とてもいい企画が多いので、その地区の方はもちろんですけど、何か、近隣の方も参加できるようなお知らせというか、宣伝みたいなものがうまく機能していけばいいのかなと感じました。どこの公民館も大変いい企画をやっているというのをこのチラシで確認させていただきました。以上です。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 先ほど申し上げませんでしたけれども、各地区館には市の職員が主事として配置されていまして、地区公民館の役割として、正規職員である地区館の主事がそれぞれ公民館主事としての研修などにも出まして、主事としての力量を高めていくというのを一つ取り組んでおります。さらに、分館の活動について、地区館の主事がそこに支援をするというようなことも、地区公民館の目標として掲げられています。地区館の主事も含めまして、今お話のあったような分館相互の情報交換にとどまらず、広く参加をしていただけるようなものは有効だと考えますので、そんなところを進めていくようにしてまいります。

徳武委員 ありがとうございます。今後とも、ぜひ継続をお願いしたいと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、次に行きたいと思います。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 それでは、報告第1号、主な行事等報告についてお願いいたします。資料1ページから5ページです。事務局より主要な行事について説明をお願いします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） それでは、私からは図書館と市民交流センターの行事報告をまとめてさせていただきます。

まず1ページ目上段になります。1月21日、ロマン大学「図書館活用講座」を開催いたしました。こちらはロマン大学のカリキュラムの一つとなります「図書館活用講座」で、図書館で御案内をさせていただきました。34名の参加があり、館内見学もさせていただきました。今まであまり使ったことがないという方も何人かいらっしゃいまして、今後は使ってみようと言っていただきました。よいPRになったと思っております。

次に2ページをご覧ください。上段、しおり部になります。下段に2月1日・2日に開催のリニューアルオープンイベントの中で、しおり部が行った「ききょう満開スタンプラリー」のことを記載しておりますが、その準備ということで、1月26日に行っております。イベントの計画から準備、参加賞等の準備に加え、冊子も制作しました。

イベント当日、ききょう満開スタンプラリーは159人の参加がありました。当初予定をしていた倍くらいの参加がありまして、1日目終了時点で参加賞を急遽追加するなど、しおり部の高校生に対応いただきました。図書館の中をチェックポイントにすることで、館内に誘導することもでき、新たな図書館の利用者の発掘につながったと感じております。

3ページをご覧ください。リニューアルオープンイベントの中で、2月1日に吉本芸人のゆでたかのさんという方をお招きしまして、「ゆでたかのさんとなぞとき」を開催しました。午前中は「作ってみよう」を実施し、なぞときを自分で考えて作るイベントでした。午後は、ゆでたかのさんが作ったなぞを解くイベントで、41名が参加をいただきました。親子で楽しんでいただける内容となっておりまして、大人の方のほうが熱中して、かなり楽しんでおられた印象を持っております。

下段をご覧ください。信州しおじり子ども本の寺子屋、今年度最後の講座になりました。火ノ鹿たもんさんのワークショップ「マンガを体験しよう！知る！描く！学ぶ！」を開催し、25名が参加されました。講師の火ノ鹿たもんさんは松本市在住で、松本国際高校で漫画を教えておられ、MGプレスにも連載をされております。当日は、松本国際高校の2年生3名も手伝いに来ていただきました。

最初、中高生向けの講座として計画をしましたが、実際の応募は小学校5年生がとて多く、講座自体のレベル感はどうなのかなと若干心配した部分もあったのですが、とて小学生とは思えない上手な子が多く、参加した子にも大変好評で、よい講座となりました。話の中で、松本国際高校の体験入学にも行きたいと感じた中学生もいまして、進路や夢の一步につながる講座になりました。

次回開催する際は、保護者の方も積極的に会場内に入ってください、漫画に理解を深める場にもしていきたいと考えてございます。

4ページ目、最後になりますけれども、えんぱーくリニューアルオープンイベント全体のまとめになります。計50団体が参加し、様々なワークショップや計42店舗のマーケット、マルシェのブースを設けました。生活環境課主催のエコ展も同時で開催されていたため、全体の出店されたマーケット等ともコラボし、環境に対する取組のポップをブースに設置するなどして、連携したイベントとすることができました。2日間で4,552人の方に来場いただきました。来場者に満足だったかどうかということシールで貼っていただくようなボードを用意してアンケートを取り、85%の方が「とても楽しかった」という回答をいただいております。年齢に関係なく、さらに多くの方々にとって魅力的な施設になれるよう、今後も様々なイベントを開催していきたいと考えております。

小松平出博物館長 それでは、ページをお戻りいただきました1ページの下段をお願いいたします。1月25日に平出遺跡公園ライトアップイベントということで、「遺跡を彩る光の旅」を開催いたしました。約200基の灯籠を中心に、復元住居や公園内の木々のライトアップを行いまして、非日常的な空間の演出を行いました。4回目となりました今回につきましては、市内の全保育園と幼稚園の年長の描いた絵を灯籠に入れて飾ることができました。当日、寒

い中ではありましたけれども、多くの親子連れを中心とした方々が来園され、幻想的な遺跡公園を楽しんでいただくことができました。以上です。

古畑文化財課長 それでは、5ページをお願いいたします。2月2日日曜日に開催されました第30回短歌の里百人一首大会でございます。こちらは、会場が原新田公民館ということで、地元の協力を得て、30回を重ねてきました。今回は、競技かるたのみということで、ちらし取りの部は、残念ながら希望者が2人しかいないということで中止になってしまいましたけれども、競技かるたで38人の申込みがあったということで、引率者や役員、また報道関係合わせれば、合計100人の参加がありました。以上です。

赤羽教育長 それでは、今の説明につきまして質問、御意見がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

碓井教育長職務代理者 1つだけ。えんぱーくのリニューアルオープンイベントについてです。私、2月1日の午前中、絵本をくださるというものですから、頂きたいと思って出かけたのですが、会場には本当に大勢の人出があって、整理券を出したブースもあるということもお聞きしました。今館長も触れられたのですが、教育長から前回の定例教育委員会でお話があったしおじりエコ展も一緒に開催していましたので、それも見ようと思っていました。しかし、人がいっぱい、なかなかゆっくりというわけにはいかなかったという状況でしたけれども、西小のクリーンセンターの見学だとか、吉田小のアサガオのリース等の展示を拝見させていただきました。本当に盛況で、すばらしいオープンだったと思いました。私が見た当日の様子をお話しさせていただきました。

赤羽教育長 ありがとうございます。そのほかよろしいでしょうか。

徳武委員 私は、1月25日の平出遺跡に行ってきたのですが、4回目ということで大分落ち着いて開催されている感じを受けました。私は遺跡公園の中山道沿いのほうの駐車場に置けたものですからそこから歩いて行きましたが、以前は駐車場がすごく問題になっていたかと思うのですが、今回はその点どうだったのかと、あと、灯籠を並べているのはボランティアの平出地区の皆さんなのか、その辺伺いたいと思います。

小松平出博物館長 ありがとうございます。駐車場に関しましては、今回、平出遺跡公園内とレゾナックの駐車場、あと、平出区のほうで管理している駐車場、いろいろお借りしました。ただ、実際行ったところ、今回は平出遺跡公園内で完結することができたものですから、ほかの駐車場まで利用というのはありませんでした。9月に行いますひらいで遺跡まつりとは違いまして、ある意味回転が速かったものですから、駐車場も比較的少なく済んだというふうに思っております。

あと、並んでいる灯籠に関しまして、委員おっしゃられたように、ひらいで遺跡まつりの関係の実行委員会、平出遺跡公園協力会、どんぐりの会、そして博物館友の会、そういったボランティアの方々を中心に並べていただいたものになっております。

徳武委員 ありがとうございます。いつも遺跡のボランティアの方はありがたいなというふうに常々感じていまして、以前は駐車場の整備や案内もみんなやっていたと思うので、ボランティアの方の御苦労あってこそイベントが成り立っていると思っています。

赤羽教育長 そのほかよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に行きたいと思います。

○報告第2号 3月の行事予定等について

赤羽教育長 それでは報告第2号、3月の行事予定についてです。6ページをお開きください。皆さん全員に関わるものは、18日の小学校卒業式、19日中学校卒業式、21日の定例教育委員会・協議会、31日の退職校長辞令交付式がありますので、皆様の御出席をお願いしたいと思います。

見ていただきまして、何かありましたら、御質問をお願いいたします。よろしいでしょうか。また何かありましたら後でお願いいたします。

○報告第3号 後援・共催について

赤羽教育長 続きまして、報告第3号、後援・共催です。資料7ページをお開きください。御質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、報告のとおり御承知おきください。

4 その他

○その他第1号 令和6年度教育委員会関係補正予算（案）について<期間限定非公開>

赤羽教育長 その他第1号、第2号は議会提出資料を扱うため、非公開にて行いたいと思います。皆さんよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 関係者のみでありますので、このまま進めたいと思います。

それでは、その他第1号、令和6年度教育委員会関係補正予算（案）についてですが、別冊資料の1ページから5ページになります。事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長 それでは、令和6年度教育委員会関係補正予算（第12号）及び（第13号）中、教育委員会に関係する内容について、担当の課長から説明させていただきます。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） それでは、1ページの資料No. 4をお開きください。歳出でございますけれども、No. 1からNo. 5まで書かれているものですが、No. 5を御覧いただきまして、補正額585万円となっております。こちらは、ひとり親の低所得世帯への給付金ということで、食費などの物価高騰に直面する同世帯に対して、実情を踏まえた支援を行う観点から、特別給付金を支給するものであります。1から4は、それに係る事務費などとなっております。こちらにつきましては、全額国の補助がありまして、一番下の行であります。歳入のNo. 1であります。612万2,000円が交付される予定でございます。説明は以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課） 資料の2ページを御覧ください。補正予算（第13号）のNo. 1、総合体育館運営事業の会場使用料214万8,000円の増額補正につきましては、総合体育館ユメックスアリーナを、行政をはじめ、中体連、高体連などが大会やイベント等で使用した分の利用料を年度末に一括精算により支払うための増額補正でございます。私からは以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） 引き続き、2番、市民交流センターの排煙扉の故障に

よる工事費の計上についてですが、えんぱ一く吹き抜け上部にございますトップライトに設置されております排煙扉が故障をいたしました。排煙扉の耐用年数は8年といわれておりまして、設置から14年経過しているため、経年劣化による故障であると考えられております。消防法に基づき、早期の復旧が必要であるが、既製品がなくて、受注生産となるため、こちらのほう、発注から6か月程度期間がかかるため、補正予算の成立後、至急設置をしていくと考えております。以上です。

上條学校教育課長 それでは、資料No. 3から6の教育相談支援事業につきましては、国の補正予算に関連しまして、令和7年度予算を前倒しするもので、不登校児童生徒の保護者などに対し、今年度と同様、不登校支援に係る検討会及び保護者を対象にした学習会を開催するほか、支援内容が分かる小冊子を新たに作りまして、広く支援体制等を周知するものでございます。

なお、財源につきましては、4ページを御覧ください。歳入のNo. 1、国の補正予算であります保護者への相談支援体制構築事業補助金、こちら補助率3分の1になりますけれども、こちらを充当することとしております。

続きまして、2ページにお戻りください。No. 7及び、次のページの一番上、No. 8になります。奨学資金貸与事業につきましては、奨学生への奨学資金貸与金について、繰上げ償還及び滞納繰越分を含む貸付金の返済分を元金積立金としてそれぞれ基金に積み立てるものです。説明は以上になります。

五味教育施設課長 それでは、教育施設課になります。No. 9、No. 10の小学校貯水設備改善事業につきましては、国の補正予算の活用に伴い、交付金の交付決定を受けたため、予算を前倒して、吉田小学校の貯水槽を耐震性のあるものに更新するための工事費及び工事監理委託料になります。

次にNo. 11、No. 12の小学校空調設備設置事業につきましては、同じく国の補正予算を活用して、利用頻度の高い特別教室、校内中間教室及び給食下処理室等に空調設備を設置するための工事費及び工事監理委託料になります。

次にNo. 13、No. 14の小学校照明設備LED化推進事業につきましては、同じく国の補正予算を活用して、屋内運動場等の照明設備をLED照明に更新するための工事費及び工事監理委託料になります。

次にNo. 15の中学校施設改善事業につきましては、国の補正予算を活用して、塩尻中学校施設内のバリアフリー化をするための工事費になります。

No. 16、No. 17の中学校空調設備設置事業及びNo. 18、No. 19の中学校照明設備LED化推進事業につきましては、小学校と同様の事業内容になります。

次に、各事業の財源となりますが、4ページのNo. 2、No. 3、5ページのNo. 5及びNo. 8の学校施設環境改善交付金及び学校教育施設等整備事業債につきましては、吉田小学校貯水槽耐震化工事、塩尻中学校バリアフリー化工事、特別教室等空調設備設置工事と屋内運動場等LED化工事に充当いたします。

4ページのNo. 4、5ページの、No. 7の合併特例事業債につきましては、特別教室等空調設備設置工事に充当いたします。

次にNo. 6、No. 9の脱炭素化推進事業債につきましては、屋内運動場照明設備LED化工事に充当いたします。私からは以上です。

塩原保育課長 続いて、歳出のほうになります。4ページになります。No. 20につきましては、民間保育所等支援事業になりますが、補助単価の増額改定などに伴います、民間保育所等への給付費の増額となりまして、その財源につきましては、次の5ページになりますが、No. 10、11の国と県からの交付金を充当いたします。私からは以上です。

赤羽教育長 説明が終わりました。委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

齋委員 5番のひとり親低所得世帯なのですが、現在どのくらいの世帯数ですか。これは子ども1人に対してですよね。世帯数でいくとどのくらい分かかりますか。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） この給付の対象となる12月時点の数字なのですが、ひとり親世帯というのは、なかなか全てを把握するのは難しいのですが、市が把握している数字では481世帯ございます。

齋委員 ありがとうございます。

赤羽教育長 いいですか。

齋委員 いいです。

赤羽教育長 そのほかはございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、説明のとおり御承知おきください。

○その他第2号 令和7年度教育委員会関係予算（案）について〈期間限定非公開〉

赤羽教育長 続きまして、その他第2号、令和7年度教育委員会関係予算（案）概要ですが、別冊資料6ページから14ページであります。それでは、事務局から説明をお願いします。

上條学校教育課長 それでは、資料No. 5、令和7年度予算（案）概要につきまして、教育委員会関係の抜粋になります。主な事業につきましては、担当の課長から説明をさせていただきます。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 資料7ページ、社会教育スポーツ課分でございます。1つ目の欄、文化会館改修事業ですけれども、文化会館レザンホールの特天天井耐震化及び大規模改修工事につきまして、本年度、基本計画の策定業務を進めてまいりました。3か年にわたる事業期間で、設計・施工一括発注によりまして、令和7年度に着手をいたします。事業推進に当たりましては、コンストラクションマネジメント方式、CM方式を採用しまして、設計・発注・施工の各段階で技術面、経費面での専門的知見による事業内容の精査によりまして、適正かつ効率的な事業推進を行ってまいります。令和7年度予算としましては、CM費用2,820万円、設計費用として1億2,100万円を計上いたします。3か年の総事業費は39億2,000万円余を予定するものでございます。

次に4つ目の欄ですけれども、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催推進事業は新規の事業でございます。令和10年度に開催が内定しております信州やまなみ国スポ・全障スポにつきまして、塩尻市では、国スポの正式競技としてバドミントン、柔剣道、デモンストレーションスポーツとしてでスポーツウエルネス吹き矢が行われる予定でございますけれども、これに向けまして、4月には交流文化部に国民スポーツ大会推進室を設置いたしまして、また、8月に塩尻市実行委員会を設立し、準備を本格化してまいります。これに当たりまして、昨日、実行委員会設立発起人会を開催したところでございます。令和7年度

予算としましては、実行委員会への負担金 100 万円を計上しまして、先催県への視察や広報などを実施するとともに、開催に向けての計画を具体化してまいります。

それから、体育設備整備事業では、市内体育施設の照明 LED 化工事の設計委託料 440 万円、市立体育館の老朽化診断調査委託料 658 万 9,000 円、市営柔道場の雨漏り修繕工事 406 万円、塩尻トレーニングプラザのエアコン改修工事 51 万円余などを計上しております。社会教育スポーツ課分については以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

小松平出博物館長 それでは、おめくりいただきまして 8 ページをお願いいたします。上段、平出博物館運営事業につきましては、博物館の本分であります展示、公開、そして教育普及といったものを行い、また、施設の維持管理を行う経費となっております。

その下、中段になりますけれども、新平出博物館の整備事業につきましては、新博物館の建設予定地にあります場所の地形測量を来年度は行う予定になっております。以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

古畑文化財課長 その下、重伝建整備事業 5,870 万円余につきましては、重要伝統的建造物群保存地区奈良井及び平沢における修理・修景事業の事業費でございます。令和 7 年度につきましては、平沢地区で修理 4 件を予定しております。私からは以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） 同じく下段になりますけれども、市民交流センター管理諸経費について御説明させていただきます。増額で 2,326 万 4,000 円となっておりますけれども、こちら今回の LED 化工事や、エアコンの改修工事につきましては、電気代につきましては減額となっておりますけれども、施設管理委託につきましては、長期継続契約を 3 年間で結んでおりまして、その契約更新が令和 7 年度から新たな 3 年間は始まるということで、このたびの物価高騰や、人件費の最低保証賃金の上昇等の影響を受けまして、かなりの増額となっております。増額と減額の相殺の中で、2,300 万円ほど増額となっております。施設分担金につきましては、若干の減額となっておりますけれども、トータルしますと、2,300 万円ということで増額となっております。

9 ページにまいりまして、一番上段、市民交流センター交流企画事業につきましても増額となっておりますけれども、こちら窓口等を行っております会計年度任用職員の人件費の上昇に伴うものとなっております。

図書館のほうにまいりまして、下から 2 段目、本の寺子屋推進事業ということで、こちらのほうは例年と同様に重点事業といたしまして、読書推進を図っていくために行う事業となっております。

最後の段、図書館サービス基盤整備事業ということで、こちらのほうは若干査定の中で減額となっております。178 万 4,000 円の減額となっておりますけれども、創意工夫しながら、必要な資料をそろえるために、しっかり選定をしながら行ってまいりたいと考えております。私からは以上となります。

竹中子ども教育部次長（子ども未来課長） それでは、10 ページをお願いいたします。一番上の行、ひとり親家庭福祉推進事業 1,661 万 1,000 円余でございますけれども、こちらのほうは、ひとり親家庭の自立支援を促すための相談事業となっているものでございまして、収入の向上に資する資格取得ですとか、養成訓練を受けるための支援、お子さんが高等学校等に

就学するための費用の給付を行うものであります。

1つ飛ばしまして、3つ目のこどもの未来応援事業 1,315万円余でございますけれども、こちらにつきましては、子どもの貧困対策に重点を置いた取組を行う事業でありまして、こども食堂や学習支援などの居場所づくり、宅食事業、あるいはこどもの進学支援などを行うものであります。以上です。

五味教育施設課長 それでは、10ページ下側になります。保育園大規模修繕事業につきましては、老朽化している広丘南保育園について、園舎の内外装、設備等を改修するための実施設計業務委託料になります。

次に、11ページをお願いいたします。1つ目の児童館大規模修繕事業につきましては、塩尻東児童館のトイレ増設と照明設備LED化等をするための工事費及び工事監理委託料等になります。

次の小学校照明設備LED化推進事業及び中学校照明設備LED化推進事業につきましては、広丘小学校、吉田小学校及び檜川小中学校の照明設備をLED照明に更新するための実施設計業務委託料になります。私からは以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

上條学校教育課長 それでは、その下の教育再生推進事業につきましては、先ほど来、御意見をいただきました学校発働き方改革実証交付金に係る事業でして、教員の本来業務である児童生徒に向き合う時間や授業時間の準備の時間に注力できる環境を整えるため、水泳授業の外部委託や共通テストの導入などの実証事業を行い、今年度、職員間で研究してきました働き方改革の実現に向けた伴走支援を図るものでございます。

続きまして、12ページを御覧ください。教育相談支援事業につきましては、増加している不登校児童生徒の一人一人の学びの場の確保に向けた取組を強化するとともに、市内の外国由来の児童生徒が増加傾向である中、全児童生徒の個々の能力を調査、把握し、日本語レベルに応じた指導を行う支援体制に向けた検討を行うものとなっております。

その下の教育DX推進事業につきましては、今年度実施しましたネットワークアセスメントの結果を受け、文部科学省が推奨する通信速度を満たすためのネットワークの増強を図るものでございます。

その下の部活動地域移行推進事業につきましては、これまで開催してきました種目別地域移行検討会や部活動地域移行協議会などで課題として出されてきました地域クラブの指導者の確保や育成、予算管理などのサポートを民間事業者へ委託し、受け皿となる地域クラブの運営や立ち上げを、市と民間事業者、スポーツ協会などが連携し、伴走支援することで、部活動の地域移行の推進を図るものでございます。

次の13ページを御覧ください。ICT活用教育推進事業につきましては、長野県が主導する県内市町村の共同調達に参加し、令和8年4月の使用開始に向けて、児童生徒1人1台端末、タブレットの購入をする事業となっております。

その下の教育振興諸経費につきましては、中学校の教科書改訂が令和7年度ありますが、そちらの教師用指導書や指導者用デジタル教材を整備するものでございます。説明は以上になります。

塩原保育課長 その下、保育課関係になります。まず、最初の民間保育所等支援事業につきましては、令和6年度から、0歳児から2歳児まで、第2子以降の保育料無償化を実施してお

りますけれども、来年度については、新たに年収 360 万円未満相当の低所得世帯について、第1子の保育料の半額を軽減するなど、さらに制度の拡充を図ります。

その下の保育所運営費中では一時保育、また、次のページになりますが、子育て支援センター事業なども含めまして、令和6年度に引き続き、保育園に預けず家庭で保育する方への支援にも取り組んでまいります。私からは以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいですか。

碓井教育長職務代理人 12 ページの一番上の教育相談支援事業になるかと思えますけれども、前回もお尋ねしたかと思うのですが、フリースクール等への通学支援というか、そういう点については、今のところに予算づけをしているということで理解してよろしいでしょうか。また、大体何人分くらい、予算を盛ってあるというふうに考えればいいでしょうか。

上條学校教育課長 フリースクールの利用者支援につきましては、委員おっしゃるとおり、この相談支援事業に入っております。予算規模につきましては、上限が1人3万円と決まっておりますから、2人から3人分くらいを予定しております。

碓井教育長職務代理人 当然、利用者の増減はあろうかと思うのですが、増えた場合等については、また補正等に対応いただくような、そのような理解でよろしいでしょうか。

上條学校教育課長 そのとおりに対応したいと思っております。

碓井教育長職務代理人 分かりました。

赤羽教育長 そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、本日予定されておりました案件は以上ですけれども、そのほか、委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

5 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして2月定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後3時22分に閉会する。

以上

令和7年3月21日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 学 校 教 育 課
教 育 企 画 係 長
